

道路改革に指導力期待

川本裕子マッキンゼー・アンド・カンパニー・シニアエクスパート 昨年は委員として高速道路問題を協議する機会をいただきました。借金で造る仕組みは限界だと分かりました。このまま放置すると、次世代に大きな負担を残すことになりかねません。銀行の不良債権問題と同じで、改革を先送りすると傷口が広がる可能性があります。小泉首相の指導力に強く期待しています。